



大迫町役場新庁舎

施工地／岩手県稗貫郡大迫町大道
第2地割51番4
竣工年月／平成16年9月
敷地面積／6,432.64㎡
構造／木造2階建
延床面積／2,891.28㎡

周囲の環境並びに町の歴史を考慮した木造庁舎

大迫町は「早池峰山と神楽とワイン」の町です。早池峰の雄大さを表現する大屋根が特徴であり、外壁にはワインが縁で友好都市関係にあるオーストリア・ベルンドルフ市のイメージとして、欧州建築に見られる白壁と木組みを用いています。



木造建築の持つ、落ち着きとあたたかみのある庁舎

大迫町はまた、「林業」の町でもあります。構造躯体には唐松、内装材には杉や赤松を使い、すべて町産材を用いています。建物中央に位置するこの町民ホールは吹き抜けとなっており、太い柱や梁に建物の堅牢性を見ることが出来ます。



フレキシブルに対応できる執務室空間

庁舎建築には、多様化する組織に対応できる執務室空間が求められます。この建物は二方向ラーメン構造を採用し、間仕切壁を極力無くしたオープンフロアとすることにより、この問題を解決しております。



チップボイラーを熱源とする冷暖房設備

近年注目されている木質バイオマスエネルギーの活用として、チップボイラーを熱源とする冷暖房設備を採用しています。地球環境に配慮しつつ、町産材の活用にも役立っております。